



# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## ●インフルエンザが終息基準値になりました

感染症発生動向調査で、熊本市の第7週(2月11日～2月17日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、7.16人(定点数25ヶ所、患者報告数179人)となり、国が終息の目安としている10人を下まわりました。流行期ではあるので引き続き感染予防につとめましょう。

## ●麻疹(はしか)が関西地方などで流行しています

麻疹(はしか)は感染力が非常に強い急性発疹性のウイルス感染症です。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。特別な治療法はなく対症療法が中心となります。空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。**麻疹の一番の予防方法は予防接種です。**これまで予防接種を受けていない方や、1回しか接種を受けていない方には、麻疹風疹混合ワクチン(MR)の接種が勧められます。予防接種を受けてすぐに抗体は出来ませんので余裕をもって接種してください。詳しいことはかかりつけの医師にご相談ください。(接種履歴は親子(母子)健康手帳を確認してください)

流行地域に行った、周囲に麻疹に感染した人がいる人で発熱、風邪症状、皮疹等の症状が出現した場合は、麻疹による症状の可能性があります。病院で受診をする際には必ず事前に医療機関に連絡を行ってください。また受診の際は感染が広がらないよう、公共交通機関の利用を避けてください。

受診の際は①流行地域での滞在歴②麻疹含有ワクチン接種歴(麻疹単独ワクチン、MR(麻疹風疹混合)ワクチンなど)③麻疹罹患歴(過去にかかったことがあるかどうか)④麻疹にかかった可能性があることを伝えて下さい。

【医療機関の方へ】麻疹は直ちに届出をしていただく感染症です。麻疹が疑われた場合は、行政検査での対応が可能です。最寄りの保健所への早めのご連絡にご協力をお願い致します。

## ●百日咳が今年に入って10人報告されています

百日咳の詳細情報は熊本市感染症情報をご覧ください⇒



期 間		2019年 6週		2019年 7週	
		2/4～2/10		2/11～2/17(最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		444	17.76	179	7.16
RSウイルス感染症		10	0.63	15	0.94
咽頭結膜熱(プール熱)		3	0.19	9	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		27	1.69	45	2.81
感染性胃腸炎		59	3.69	60	3.75
水痘(みずぼうそう)		5	0.31	5	0.31
手足口病		5	0.31	8	0.50
伝染性紅斑(りんご病)		2	0.13	4	0.25
突発性発しん		11	0.69	10	0.63
ヘルパンギーナ		0	0.00	1	0.06
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		19	3.80	20	4.00
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	2	0.40